

タイ。則チ吾々ハ、人生上ニ眞ニ生命ヲ賭シテ眞顔ニ活躍努力スルノ秋ハ短カキ其ノ生涯ヲ通ジテ考アルニ、一度來ルヤ、或ハ來ズニ終ルヤニアル。若シ幸ニシテ其ノ時ニ直面スル者、將シテ悔ナキ活動ノ實行シ得ル者幾何ゾ、即チ修養、眞ノ腦力ニ死ヲ安スル者幾何ゾ、吾等斯ク思フ時祖國日本ノ現狀ハ數年ヲ出デズシテ此ノ非常時爆發ノ來ルハ今日明日ニ示サレ、國民等シテ待期ノ今日デアル、若シ今時ニ際シ同胞ノ眞ノ敵トスル者ハ何人ゾ、日本國內ニ於ケル共產主義亞流ノ他ハ斷ジテ一人モナイ。

然ルニ今日ノ一枚の労働組合ノ現狀ハ、其ノ主義行動ニ於テ日本主義、將又國際主義タルヲ問ハズ、労働組合ノ營利的方針ニ一意終始シタル處ノ爭論漸テアリ、アジ賣デアル、是レ徒ニ産業非常期ニ脅カシ、或ハ又個人的立場ニ利用スルノ他ニ出デナイデハナイカ、吾々ハ如斯キ労働組合ヲ斷ジテ期待スルモノニ非ズ。換言スルニ非常時國內ニ於イテ、勞資ガ經濟的ニ相争フノ今日

デハアルマイ。國民ハ雇者、被雇者ノ別ナク等シク紙衣一枚トナリテ祖國防衛ノ一線ニ起タネバナラナイ、今ハ一步前デアアル。吾々モ亦是ヲ善處セン爲ニ先ヅ吾々ノ組合ヲ解消シテ、以テ愛國運動ノ全面ニ當ラントス、而シテ若シ此ノ期間ヲ利用シテ利己的策動ニ出ズル企業家ノ現レ、吾等ノ互譲ヲ無視スル時ハ、組合ナラズ共吾々ノ決心ハ何者ニモ恐レズ肉彈ヲ以テ彼等ヲ膺懲セン。

即チ非常時困難ヲ善處セントスル主要眼目ハ、國際的ノ壓力ニ依リテ奮起スルノ他ナキ國民性ヲ飽ク迄モ勇敢ニ行使サル、様、志シテ努力ヲ繼續セネバナラナイ、其爲ニ吾等ハ今、日本主義職業組合評議會ノ機構ヲ清算ヲ決行シタモノデアアル。

因ツテ解消シタル職評ノ委員ハ、解消ト同時ニ更生ノ愛國青年隊ニ入隊シ、經濟運動ニ、政治運動ニ偏セズ純白ノ立場ヨリ眞ニ生命ヲ賭シテ愛國職評ノ嚴選の精合精心セントスルモノデアアル。總司令官トシテ堂前孫三郎氏ガ、其ノ余生ノ總テヲ捧グルヲ誓